

透析診療ネットワーク (アクア-D) とは、外来維持血液透析患者を対象とした医療データを参加施設から収集し、データベース化するネットワークです。2014年に事業を開始いたしました。

専用のシステムにより各施設の医療データを標準化してデータベース化し、臨床研究を効率的に行い、医療現場に還元します

効率的な臨床研究を行い、よりよい医療につなげることを目的としています

透析診療ネットワークは、下記のことを目的としています

1. 施設・地域間の診療のばらつきを見える化し、フィードバックする
2. 医療データを、医療者の疑問に答えることのできる形で効率的に収集し、活用する
3. エビデンスを発信し、医療の現場に還元する

次の対象データを収集します

参加施設には、データ登録のため、AQUAH-DシステムをインストールしたPCを設置します

- 電子データでPCに登録するデータ
 - ・ レセプト
 - ・ 血液検査データ
 - ・ 透析通信システム等の出力データ
- PC上で手入力するデータ
 - ・ 背景情報 (併存症など)
 - ・ 転帰 (入院、死亡など)
- 患者アンケート (年に1回)
QOL (生活の質)、腎臓病に伴う症状



参加施設にご協力いただくこと

下記につき、ご協力をお願いしています

- ・ システム導入前
アンケートへのご回答、サンプルデータのご提供
- ・ システム導入後
同意取得、ノート型PCの設置
登録する電子データの出力とPCへの取込み (1か月毎)
手入力データの登録 (随時)
データ提出 (6か月毎)、アンケート調査 (1年に1回)

個人情報適切に保護しています

- ・ 個人情報は、特定の個人を識別できないように匿名化します
- ・ 中央データセンターのセキュリティが確保された環境でデータを扱います
- ・ 患者さまから同意取得を行います

参加施設には次のようなメリットがあります

1. 臨床研究支援

- 自施設データを解析しやすい形式に加工して返却
貴施設発の学会発表、論文作成にご活用ください
中核拠点*は、該当地域・全国のデータを活用できます
- 腎臓・透析診療のてらこ屋 (多職種・無料)
京大などの講師陣によるレクチャーや実践的グループワークで学ぶ臨床研究の入門編のワークショップです
- 臨床研究の遠隔学習コンテンツの提供 (多職種)
遠隔学習コンテンツ eMAP、eMAP nextを割引価格 (半額) で受講できます
- 研究プロトコルブラッシュアップ (多職種)
プロトコル/抄録作成アプリQmentorを無料で利用できます
審査で採択された場合、研究者がブラッシュアップを支援します
- 腎臓・透析診療の研究デザイン塾 (医師)
合宿形式で、本事業データを用いた解析・論文文化を目指します
中核拠点*の勤務医師もしくは推薦医師が対象です

2. 事務業務支援

透析医学会調査用のデータのcsv出力が可能です

3. 診療の質の向上支援

施設・地域間の診療のばらつきをデータから解析し、各施設にフィードバックします

*中核拠点とは、地域の複数施設を取りまとめる責任を持つ施設です